

2026 教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ「環境体験教室」		
題名・副題	めざせ植物ジュニアレンジャー(3) ～自然のつながり(生態系)とは?～		
月日・時間	2026年6月6日(土) 10:00～12:00		
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館 1階・会議室 隣接公園		
部会・講師名	生物部会 吉岡嗣二郎	参加数	3名
		講師数	4名

写真・画像



同期発芽のオオバコとシロツメグサを観察



木に張り付くウメノキゴケを観察



「メダマッチ」を作って楽しみました



葉っぱが腐葉土になる自然の循環

成果解説

生態系とはなんでしょう？ この教室は、公園内の植物などを観察することにより、多様な生態系への理解を深めることが目的です。

始めに、「季節が変わっていくのはどうしてか？」から、季節が変わるときに起きる植物の変化とその周辺のつながり(生態系)に注目し、その体験を行いました。観察では、在来種と外来種が同期発芽する「オオバコとシロツメグサ」を観察しました。ウメノキゴケは海藻の仲間とこけの仲間が同居するとともに、きれいな空気の指標ともなります。ヤブカラシは自分を支える巻きひげを伸ばし、側にいる植物を利用して伸びていきます。「腐葉土」により豊かな自然が保たれるには、自然の循環が大事であることを理解しました。

自然の中であそぶことが少ない子どもたちのために、シェアリングネイチャー(自然との分かち合い)として、「メダマッチ」と「ミラーウォーク」を行いました。「メダマッチ」は木の気持ちを想像し、目玉と言葉を張り付けることですが、子どもたちの豊かな発想に驚きました。また、「ミラーウォーク」は、鏡で上空を映し見ながら森を歩く不思議体験ですが、初体験に「怖いけど、楽しい！」の声がかれました。